

ファンドレイジング・スクール

第3期説明資料



ファンドレイジング・スクール

修了後の姿

どんな組織や、いかなる状況であっても、
経営資源を獲得し、組織と事業を成長させら
れる、実践力を発揮できるファンドレイザー

ファンドレイザーの

成長ステップと

認定資格とスクールの位置づけ

ファンドレイザーの成長ステップ

エントリー

- ファンドレイジングに関心がある
- 寄付の手法のいくつかを知っている

未経験者でも
取得可能

コア

- ファンドレイジングの基礎的な知識を理解している
- 担当する組織の事業、組織、財産の一部を理解している

准認定ファンドレイザー
取得レベル

アドバンス

- ファンドレイジングの応用的な知識を有し、実践することができる
- 担当する組織の事業、組織、財産の全体を見ている
- ファンドレイジングの戦略をつくり、目標をたてることができる

有償実務経験
3年が必要

認定ファンドレイザー
取得レベル

エキスパート

- ファンドレイジングの先進的、革新的な知識を生み出している
- 担当する組織の事業、組織、財産の全体を見て、ボトルネックを把握している
- ファンドレイジングのPDCAサイクルをつくり、結果を出す仕組みが作れる



対応する認定資格とスクール

エントリー

コア

アドバンス

エキスパート

ファンドレイ
ジング入門

選択研修

認定講師

ファンドレイジング
スクール

准認定
必修研修・試験

認定
必修研修・試験

准認定ファンドレイザー
取得レベル

認定ファンドレイザー
取得レベル



実践力を習得する
3つのメソッド

認定資格制度

体系的な
知識の習得

准認定ファンドレイザー
必修研修

准認定ファンドレイザー
試験

選択研修

認定ファンドレイザー
必修研修

認定ファンドレイザー
試験

×

経験
からの学び

アドバンス研修

アドバンス研修

スクール独自開発の研修

×

実践に
よる定着

応用ゼミ

少人数限定ゼミ

- ・リアルケーススタディ
- ・自団体の戦略作成
- ・コンサルタントの伴走

ファンドレイジング・スクール

認定資格制度

体系的な
知識の習得

准認定ファンドレイザー
必修研修

准認定ファンドレイザー
試験

選択研修

認定ファンドレイザー
必修研修

認定ファンドレイザー
試験

ファンドレイジング・スクール

本科コース生特典
スクール期間中に

- ・(6月実施) 准認定ファンドレイザー試験
- ・(9月 or 10月実施) 認定ファンドレイザー必修研修

を無料で1回受講することができます。

本科コース生特典

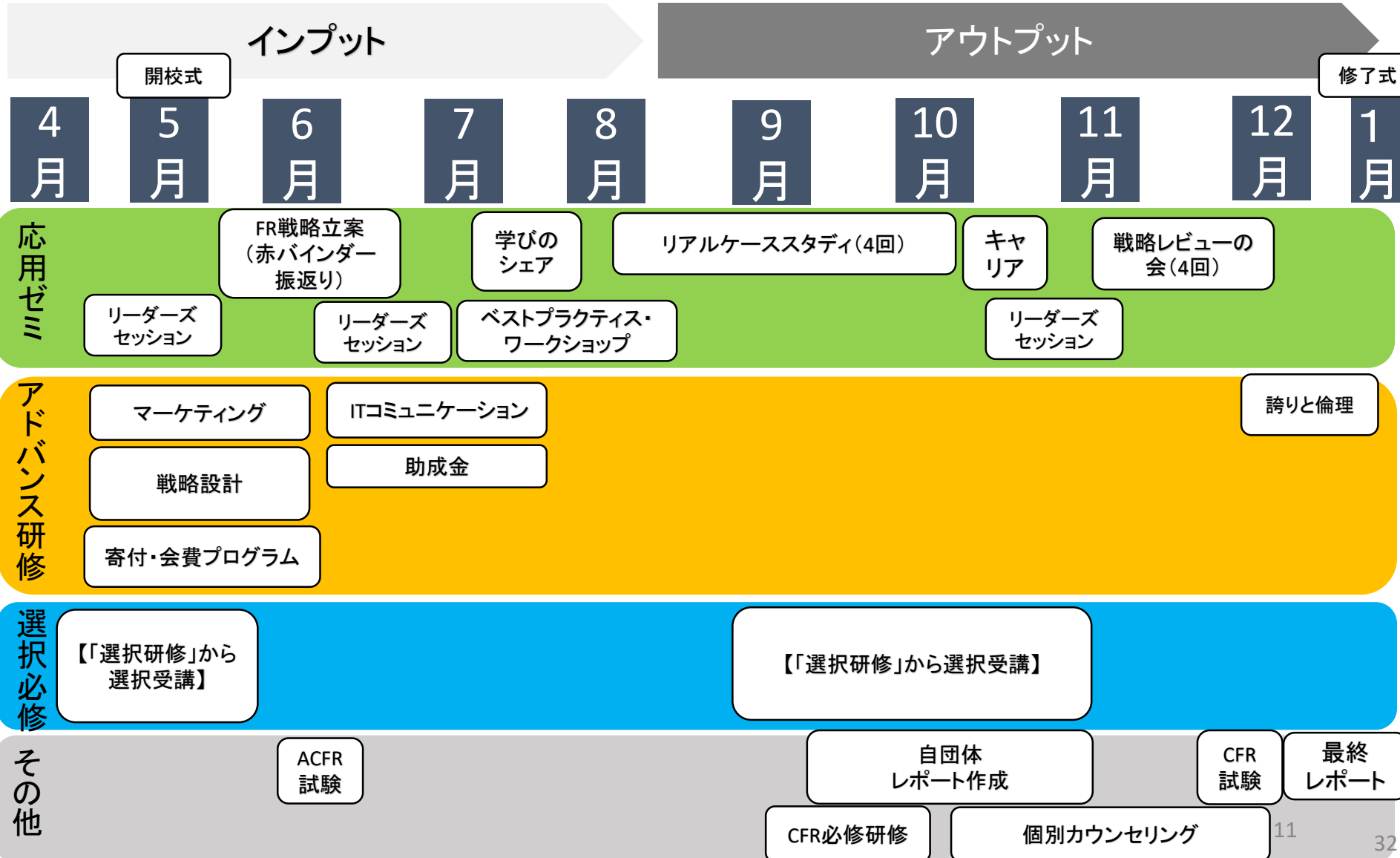
スクール期間中に日本ファンドレイジング協会
が主催する研修・イベントは無料で受講するこ
とができます。

※但し、FRJ、他団体やチャプター主催の研修は
対象外

求められる5つの能力		カテゴリ	アドバンス研修	選択必修
① 実行と実践力	② 知識とスキル	マーケティング	1講座	※カテゴリによっては、対面の研修とオンライン研修の両方があります
		広報・ITコミュニケーション	1講座	
		寄付・会費プログラム	1講座	
		助成金	1講座	
		収益事業		★
		企業・行政連携		★
		社会的投資・融資	応用ゼミ1回	
		評価		★
	③ マネジメント・コミュニケーション	戦略設計力の強化	1講座	
		組織管理		★
		会計・税務・法務・リスク管理		★
	④ 対人コミュニケーション	コミュニケーション強化		★
⑤ 誇りと倫理	リーダーシップ・誇りと倫理	1講座		
①②③④⑤		応用ゼミ(15回)		

合計:54時間以上
(全21コマ、2時間/1講座)

スケジュールイメージ



開催場所・時間帯について

開催場所

お茶の水、九段下、神保町等の貸し会議室

時間帯

- ・ 土曜日の午前／午後
- ・ 平日の19:00～21:00

その他

事前課題について

各アドバンス研修には事前学習を行い提出して頂きます。目安学習時間は1時間～2時間を想定しています。

リアルケーススタディ

実団体へファンドレイジング戦略の提案を行います。グループにて課外での作業時間が発生します。目安3時間～5時間

その他

選択必修の受講に際して

受講した選択必修から、得た学びや気づきを記入するシートに記入・事務局に提出。

本科コース内容：

- ・ アドバンス研修（6講座）
- ・ 選択必修（6講座）
- ・ ゼミ（15回）
- ・ 准認定ファンドレイザー試験（6月開催分）
- ・ 認定ファンドレイザー必修研修（1回）
- ・ 特典：日本ファンドレイジング協会主催
の研修の無料受講（選択必修受講分含む）

本科コースの内容

- ・ 准認定ファンドレイザー試験の受験
 - 2018年6月開催の准認定ファンドレイザー試験を無料で受験できます。 5,000円相当
- ・ 認定ファンドレイザー必修研修の受講
 - スクール期間中1回を無料で受講することができます。 60,000円相当
 - ただし、認定試験は有償実務経験3年未満の方はスクール生であっても受験できません
 - 認定ファンドレイザー試験費用は別途となります。
 - 認定ファンドレイザーの方は再受講の必要はありません
- ・ アドバンス研修・選択必修全講座の受講とゼミへの参加
 - アドバンス研修6講座を受講することができます。 35,000円相当
 - 選択必修6講座を受講することができます。 18,000円相当
 - 全15回のゼミに参加することができます。 112,500円相当
- ・ スクール以外の研修やイベントの無料受講
 - 協会主催の研修約24講座 74,000円相当
 - 協会主催の各種イベントにも無料で参加が可能です
 - ファンドレイジング・日本、他団体主催、チャプター主催のみ対象外
- ・ アドバンス研修の受講権利（2年間）
 - 欠席しても次年度の開催分に参加可能
- ・ 有償実務経験（1年）の付与
- ・ 修了後、認定・准認定ファンドレイザー資格更新に必要な20ポイント付与

合計
304,500円
相当

本科コースについて

体系的な知識の習得 × 経験からの学び × 実践による定着

実践力を習得するための
オールインクルーシブな学びの場が
ファンドレイジングスクールです。

本科コース料金

- ・ 准認定ファンドレイザー必修研修受講者： 20万円（税別）
- ・ 准認定ファンドレイザー資格取得者： 20万円（税別）
- ・ 認定ファンドレイザー資格取得者： 15万円（税別）

費用に含まれているもの（但しスクール期間中に限る）

- ・ アドバンス研修（6講座）の受講費用
- ・ 選択必修（6講座）の受講費用
- ・ 応用ゼミ（15回）の参加費用
- ・ 認定必修研修費用（1回分）、但し認定ファンドレイザー資格取得者の方は再受講の必要はありません
- ・ 選択研修受講費用（スクール期間中無制限）
- ・ イベント参加費用（スクール期間中無制限）

入学資格

- 准認定ファンドレイザー必修研修受講済みであること。
- 「履歴書」「職務経歴書」「エッセイ」の協会の審査を通過した方。
- 勤務、理事、プロボノ、ボランティアなどで関わりのある非営利活動団体の現場を持っていること。
- アドバンス研修、選択必修、応用ゼミ、認定ファンドレイザー必修研修等に参加できること。※「選択必修」のみ、オンラインコンテンツをご用意しております。
- 日本ファンドレイジング協会が定めた方法で申込み、期日までに支払が完了していること。

募集について

- スクール期間：2018年5月～2018年12月
- 募集人数：25名
- 募集締切：
 - ~~1回目：選考締切り2/2(金)結果発表 2/16(金)~~
 - ~~2回目：選考締切り3/9(金)結果発表 3/23(金)~~
 - ~~3回目：選考締切り3/30(金)結果発表 4/13(金)~~
 - 4回目：選考締切り4/27(金)結果発表 5/9(水)
- 支払い方法：
 - ・カード、郵便振替、コンビニ払い
 - ・一括払い、年4回（2か月ごと）の分割払い

修了要件

- アドバンス研修の8割以上の出席
- 応用ゼミの8割以上の出席
- 選択必修を8割以上受講
- 認定ファンドレイザー必修研修の受講（スクール生に限って有償実務経験が3年未満でも受講が可能です）※既に受講済の方は改めて受講する必要はありません。
- 応用ゼミで作成するファンドレイジング戦略レポートの提出

申し込み方法

<http://jfra.jp/school/requirements/>



スクールの情報 | 学びの場 | マップ | 開催スケジュール | 講師紹介 | 募集要項 | 資料請求 | 申込

募集要項 / Outline
ファンドレイジング・スクール
2017年度募集要項

● 募集要項 ● よくあるご質問 (FAQ)

募集要項	
スクール期間	2017年5月～2017年12月予定
開催地	東京
募集人数	20名
募集締切	1回目 締め締切り 2/3 (金) 結果発表 2/17 (金) 2回目 締め締切り 3/10 (金) 結果発表 3/24 (金) 3回目 締め締切り 3/31 (金) 結果発表 4/14 (金)
費用	準認定ファンドレイザー資格取得費：20万円 (税別) 認定ファンドレイザー資格取得費：15万円 (税別) 費用に含まれているもの (但しスクール期間中に限る) ・応募料金 (10回) の学費減額 ・準認定ファンドレイザー受験費用 (2017年6月開催分、但し認定ファンドレイザー資格取得費の方は受験の必要はありません) ・認定必修研修費用 (1回分)、但し認定ファンドレイザー資格取得費の方は研修受講の必要はありません ・進捗研修受講費用 (スクール期間中無料提供) ・イベント参加費用 (スクール期間中無料提供)
支払方法	・カード、郵便振替、コンビニ払い ・一括払い、年割 (3か月ごと) の分割払い
入学資格	・準認定ファンドレイザー必修研修受講済みであること。 ・入学申込みの際に提出する「履歴書」「職務経歴書」「エッセイ」について、内容の審査を通じた方。 ・国籍、種別、プロボノ、ボランティアなどで関わりのある非営利活動団体の関係を持っていること。 ・スクール期間中、修了のために必要となるアドバンス研修、応用ゼミ、認定ファンドレイザー必修研修等に参加できること。※オンライン受講等の遠隔参加の仕組みは今回は用意しておりません。 ・日本ファンドレイジング協会認定の方法で申込み、締切までに申込が完了していること。
修了条件	・アドバンス研修の8割以上の出席 ・応用ゼミの8割以上の出席 ・認定ファンドレイザー必修研修の受講 (スクール生に比べて有資格者研修が3年未満でも受講が可視です) ※履修申請書の提出が必要となります ・応用ゼミにて作成するファンドレイジング戦略レポートの提出

● スクールに申し込み

募集要項

スクールに申し込み

<入学までの流れ>

1. 募集要項を確認する
2. 「スクールに申し込む」からフォームに情報を入力
(<https://business.form-mailer.jp/fms/bd3575bc80390>)
3. 履歴書、職務経歴書、エッセイを提出
4. 入学の可否通知を待つ
5. 決済URLよりお支払
6. 入学確定

参考資料

1. 研修カリキュラム
2. アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介
3. スクール生の業種（1期・2期）

(参考資料) 研修カリキュラム

カテゴリー	研修タイプ	講師	内容
マーケティング	アドバンス研修	長浜洋二	ファンドレイジング戦略を作成するためには、課題を認識し、環境分析を行い、ターゲットやポジショニングを明確にするマーケティングが不可欠です。本講座では戦略作成に不可欠なフレームを知り、活かせるようになることを目標としています。
戦略設計力	アドバンス研修	山元圭太	作成したファンドレイジング戦略が受け入れられ、実行に移されるためには、団体のビジョンやミッションにどれだけ基づいているかが重要となります。本講座では、これまで多くの団体でファンドレイジング戦略を作成、実施してきたコンサルタントを講師に招き、実例をふまえて習得していきます。
寄付・会費プログラム	アドバンス研修	山元圭太	寄付・会費のプログラムを設計するにあたり、「ドナーピラミッド」と「ステークホルダーピラミッド」を明確に区別し使い分けることは重要なスキルとなります。本講座ではケースと自団体のワークをする中で、こうした寄付・会費のプログラム設計で重要なスキルを習得していきます。
ITコミュニケーション	アドバンス研修	鎌倉幸子	寄付プロジェクトを立ち上げ、成功させるためには、既存支援者や潜在支援者に対するコミュニケーションがとても重要となります。クラウドファンディングを事例に、プロジェクトの準備、立ち上げ、コミュニケーションの一連の流れを理解し実施できるようになる講座です。

(参考資料) 研修カリキュラム

カテゴリー	研修タイプ	講師	内容
収益事業	選択必修	(徳永洋子) (秋本祥治)	国際協力、福祉、まちづくり、人権、雇用支援、災害救援支援、中間支援などNPOが扱う事業には、それぞれ収益モデルがあります。このプログラムでは様々な分野の方々をお呼びして事例をきくことで、成功する収益モデルについて学びを深めていきます。
企業・行政連携	選択必修	(高木美代子) (山田心) (久津摩和弘)	NPOは社会課題の解決のために、企業や行政といった「枠」を超えて活動しています。そのため、ファンドレイザーにも各セクターとの連携を視野に入れて活動できることが求められます。法人寄付をもらう、行政から委託事業をもらうだけでなく、包括的な関係性をつくり、連携を深めていく実践について理解することができるプログラムです。
評価	選択必修	鴨崎貴泰	寄付者に対して、頂いた寄付をどの活動に使い、その活動が社会にどれだけ影響を与えたかを説明することは、これからますます必要になってきます。そうした社会的インパクト評価の基本やトレンドを講義で学んだ後で、実際にロジックモデルを作成し、講師よりフィードバックをもらいながらブラッシュアップしていきます。

(参考資料) 研修カリキュラム

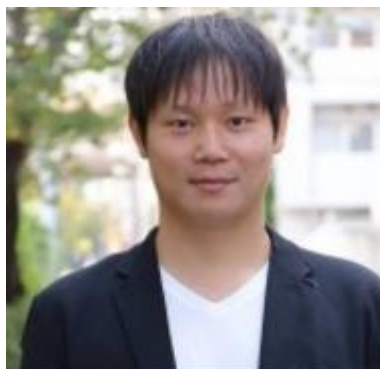
カテゴリー	研修タイプ	講師	内容
助成金	アドバンス研修	山田泰久	ファンドレイザーにとって助成金は、獲得することも重要ですが、未来への投資としてどう活用できるかや、他の財源とどう相乗効果を出していくかを考えて行動できるかがさらに重要です。こうした助成金の考え方を講座にて理解し、実際に助成プログラムの選定、申請書の作成、講師からのフィードバックなどの実習を通じて実践力を高める講座です。
会計・税務・法務・リスク管理	選択必修	脇坂誠也	寄付を受ける上でNPO法に対応した会計について理解することや、税額控除など寄付税制を知り、支援者にわかりやすく説明できることは団体の信頼性を向上させるために欠かせません。この講座では、NPOの税制について詳細を知る税理士の講師より、こうした知識を習得します。
コミュニケーション力の強化	選択必修	(浅井美絵)	ファンドレイザーには、プレゼンテーションやファシリテーションなど様々なコミュニケーション力が求められます。それは、多くの人に共感してもらい寄付やボランティアにつなげたり、組織内のビジョンやミッションなどのディスカッションをまとめることを求められるからです。こうしたコミュニケーション力を向上することができるプログラムです。
リーダーシップ・誇りと倫理	アドバンス研修	鵜尾雅隆	多くの成功した寄付プログラムがある一方で、それ以上に多くの失敗事例があります。国内外の様々なファンドレイジングの事例に精通している講師より、こうした失敗事例から学べることは何かお伝えします。

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



●応用ゼミ担当、
失敗の事例から学ぶファンドレイジングの本質担当

鵜尾雅隆
認定NPO法人日本ファンドレイジング協会
代表理事



●戦略設計力講座、寄付・会費プログラム講座

山元圭太
合同会社喜代七 代表



●ITコミュニケーション講座担当

鎌倉幸子
アカデミック・リソース・ガイド株式会社リレーションズ・ストラテジスト
かまくらさちこ株式会社 代表取締役

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



● 応用ゼミ担当

鴨崎貴泰

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会
事務局長



● マーケティング講座担当

長浜洋二

准認定ファンドレイザー



● 助成金講座担当

山田泰久

NPO法人CANPANセンター
代表理事

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



●応用ゼミ担当

浅井美絵

フリーランスファンドレイザー



●応用ゼミ担当

イノウエヨシオ

株式会社ファンドレックス

ファンドレイジング・プロデューサー



●応用ゼミ リーダーズセッション担当

深尾昌峰

プラスソーシャルグループ代表

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



●応用ゼミ リーダーズセッション担当

米良はるか
READYFOR株式会社
代表取締役 CEO



●応用ゼミ リーダーズセッション担当

宮城治男
NPO法人 ETIC.
代表理事

(参考資料) スクール生の業種 (1期・2期)

1期生	
NPO	1
財団法人	1
社団法人	2
士業	1
企業	5
任意団体	1
個人事業主	1

2期生	
NPO	1
財団法人	3
社団法人	1
士業	1
企業	5
任意団体	1
個人事業主	1
行政	3

※1期生・2期生ともに、勤務、理事、プロボノ、ボランティアなどで関わりのある非営利活動団体があり、スクールに臨まれています。